

第40回

湖西市長杯争奪柔道大会

日 時 令和元年10月27日(月)9時開会式

会 場 新居中学校武道場



1. 開 会
2. 挨 拶 湖西市体育協会柔道部長
3. 競技上の注意 審判長
4. 連 絡 事 項
5. 試 合 開 始
6. 成 績 発 表
7. 表 彰
8. 講 評
9. 閉 会

役 員

NPO法人湖西市体育協会

会 長 菅本 利隆

副会長 田代 孝 佐原 功一郎

理事長 飯田 康仁

湖西市体育協会柔道部

部 長 小松 勝

副部長 白井 康二 小笠原 卓也

審判長 水野 進

役 員 河合 利和 尾崎 浩太 伊藤 恭久 藤井 雄太

土屋 彰裕 清水 亮に 安田 勉 鈴木 弘昌

内田 大貴 木村 一輝 (順不同)

湖西おそんが柔道クラブ指導者

時計係 新居中学校、鷺津中学校、湖西中学校

湖西おそんが柔道クラブ

事務局 松野 充佳 尾崎 修

本 部

※時計係(湖西中-おそんが)

※時計係(新居中-おそんが)

第一試合場

試合順	(試合数)
①小学1年以下 20kg級	3
②小学2年以下 20kg超級	3
③中学2年男子 (NO.1~7)、決勝	7

第三試合場

試合順	(試合数)
①小学4年	3
②中学1年男子	9

第二試合場

試合順	(試合数)
①小学3年 30kg級	3
②小学3年 30kg超級	3
③中学2年男子 (NO.8~14)	6

第四試合場

試合順	(試合数)
①小学5年	3
②小学6年	3
③中学女子	6

※時計係(湖西中-おそんが)

※時計係(鷺津中-おそんが)

※ 試合進行状況により変更有り

第40回湖西市長杯争奪柔道大会 小学生の部組み合わせ

令和元年10月27日(日)

● 小学校1年生以下 20kg級 の部

① 1-2 ② 1-3 ③ 2-3

			1	2	3	勝数	負数	順位
1	松本 侑都	おそんが柔道	/					
2	永田 悠	おそんが柔道		/				
3	川瀬 愛来	おそんが柔道			/			

● 小学校2年生以下 20kg超級 の部

① 1-2 ② 1-3 ③ 2-3

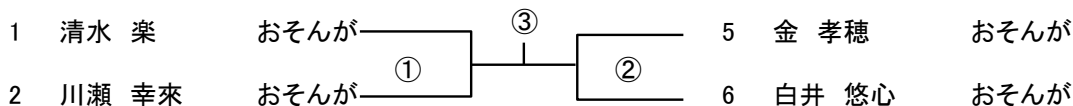
			1	2	3	勝数	負数	順位
1	浮海 駕久	おそんが柔道	/					
2	トーマス・エンティエン	おそんが柔道		/				
3	平尾 颯	おそんが柔道			/			

● 小学校3年生 30kg級 の部

① 1-2 ② 1-3 ③ 2-3

			1	2	3	勝数	負数	順位
1	疋田 兼士	おそんが柔道	/					
2	松本 和都	おそんが柔道		/				
3	トーマス・エンザビン	おそんが柔道			/			

● 小学校3年生 30kg超級 の部



● 小学校4年生 の部

① 1-2 ② 1-3 ③ 2-3

			1	2	3	勝数	負数	順位
1	永田 秋華	おそんが柔道	/					
2	中山 絢斗	おそんが柔道		/				
3	後藤 大輝	おそんが柔道			/			

● 小学校5年生 の部

① 1-2 ② 1-3 ③ 2-3

			1	2	3	勝数	負数	順位
1	福井 蓮王	おそんが柔道	/					
2	川瀬 大夢	おそんが柔道		/				
3	藤森 久輝	おそんが柔道			/			

● 小学校6年生 の部

① 1-2 ② 1-3 ③ 2-3

			1	2	3	勝数	負数	順位
1	平尾 新	おそんが柔道	/					
2	徳本 久奈	おそんが柔道		/				
3	関戸 志士丸	おそんが柔道			/			

湖西市長杯争奪柔道大会 中学個人の部

1年男子

1	島津 響輝	鷺津		星川 佳吏歩	鷺津	6
2	笹瀬 昇吾	新居		荒内 愛翔	新居	7
3	松井 健太	新居		菅原 里王	新居	8
4	松井 邑哩	新居		サムエルヒロキ	新居	9
5	早瀬 咲人	新居		木村 琉愛	新居	10

2年男子

1	内山久 羽吾	鷺津		疋田 拳新	新居	8
2	佐々木 康晴	湖西		片山 眞	湖西	9
3	松本 凌児	新居		福田 芽豊	湖西	10
4	安井 寛太	湖西		齊藤 充昭	新居	11
5	藤森 大輝	新居		河口 聡汰	鷺津	12
6	水野 昇竜	湖西		当麻 剛	新居	13
7	山本 海渡	新居		松浦 廉	湖西	14

1、2年女子

1	九里 美羽	鷺津		関谷 愛歌	鷺津	4
2	中村 文香	鷺津		松本 華青	鷺津	5
3	永田 小春	新居		安田 桃優華	鷺津	6
				大野 未鈴	新居	7

湖西市長杯争奪柔道大会審判監督者会議次第

1.開 会

2.挨拶 湖西市体育協会柔道部長

3.協議 審判長

(1)審判規定 国際柔道連盟審判規定及び本大会要項並びに審判監督者会議申し合せによる。

(2)試合時間 小学生・中学生 3分

(3)試合方法 トーナメント戦又はリーグ戦とする。

(4)判定基準 「技あり以上」とする。

- ・得点差がない場合、指導差2以上もしくは判定により勝敗を決定する。
- ・準決勝・決勝は、ゴールデンスコアで勝敗を決する。

(5)申し合わせ事項

- ①小学生の絞め技・関節技は、規定により禁止(中学生は関節技は禁止)
- ②反則は規定に則り厳正にとる。
反則を与える場合は、「指導」以上から合議することができる。
(偽装的攻撃・両膝付きの背負い投げ・後襟や背部を握るなどは厳格にとる)
- ③「同時反則負け」の場合は引き分けとし、再試合を行なう。
- ④試合が連続する場合は、試合時間と同じ休息時間を与える。
- ⑤隣接する試合場においては、寝技を優先し事故防止に努める。
- ⑥礼法は正しく行なわせ、出来ない場合はやり直させる。
- ⑦審判は2人制(決勝戦は3人制)とする。
- ⑧柔道着検査は、開会式後に審判員全員で行なう。
- ⑨定められていない事態が生じた場合は、審判長の判断により処理する。

4.選手変更、試合運営、時計記録係など

5.その他

6.閉 会